

(別紙様式)

【事業区分：組織力・経営力向上のための自主企画研修等】

# 西和賀生活研究グループ連絡協議会

## ○グループの紹介

西和賀町内で農業に関わる女性のグループ。「農家の特徴を活かしたゆとりある暮らし」「生活の技や文化活動」「食農教育」「農業経営の向上」を目指して活動し、令和3年で50周年を迎えた。



フラワー&ガーデン森の風にて

## ○経営区分 農業

## ○人数 19人

## ○事業目的

会員の減少や高齢化に伴って協議会活動も縮小傾向にあるが、他地域の取り組みから積極的に先進事例を学び、「農家の特徴を活かしたゆとりある暮らし」を目指し、「生活の技や文化活動」、「食農教育」、「農業経営」等について積極的に学び、地域活動にも主体的に参画し、これまで以上に元気で活力ある地域づくりの取り組みに役立てる。

## ○事業実施実績

| 実施内容<br>(具体的な内容・方法)                    | 時期            | 場所                                      | 備考 |
|--|---------------|---|----|
| ・住環境の整備、加工品開発や産直運営に関する知見の収集のための先進地視察研修 | 7月5日          | フラワー&ガーデン森の風、農家レストランらら(雫石町)、紫波マルシェ(紫波町) |    |
| ・POP作成方法を学ぶためのPR手法習得研修                 | 7月20日         | 西和賀普及サブセンター                             |    |
| ・POP作成の実践のためのイベント参加と販売(2回)             | 7月31日<br>9月5日 | 母ちゃんの店わがや(西和賀町沢内)<br>農業研究センター(北上市)      |    |
| 食品衛生研修                                 | 12月19日        | 西和賀普及サブセンター                             |    |

## ○活動の成果

- ・視察研修：「フラワー&ガーデン森の風」では花壇や庭木の管理について伺い、「教えてもらったように剪定したい」「気になる花があったので自宅に取り入れたい」などの声があった。

また、「紫波マルシェ」ではオガール紫波代表取締役 佐々木氏から、加工品開発について、山菜なら食べ方も一緒に提案するなどの売り方のコツや、様々な産直や女性グループの活動なども幅広くお聞きし、今後のグループ活動へのヒントを得た。



フラワー&ガーデン森の風



紫波マルシェ（右が佐々木氏）

- ・PR 手法習得研修では北上アビリティセンター所長 赤坂氏を講師に、POP の書き方について研修した。また、学んだことを活かしてイベントでの販売にのぞみ、いつもと一味違う商品展示ができた。POP 作りを通じ、自分たちの商品の「売り」は何かを考え直す機会になった。



PR 手法習得研修（中央が赤坂氏）



イベントでの実践（母ちゃんの店わがや）

- ・食品衛生研修では、実習として実際に HACCP の考え方を取り入れた衛生管理計画の行程表を作成し理解が深まった。学んだ内容を活かして加工品の安全性確保に努めたい。



食品衛生研修

### ○次年度に向けて

- ・今年度は、協議会の理念の基本に立ち返り、身近な活動を見つめ直すことができた。また、活動の中で生まれる学びの大切さや楽しさも改めて感じる事ができた。
- ・次年度は、今年度の活動で得た知識を踏まえ、身の回りの住環境の整備に取り組むとともに、加工品作りや販売などについてもさらなる充実を図りたい。